

令和4年5月2日

報道関係者各位

公益社団法人マナーキッズ@プロジェクト



「第18回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦」開催の件

公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、全国各地でマナーキッズ教室を展開しており、累計で国内47都道府県及び台湾、マレーシアにおいて、延べ1,000,000人を超える幼稚園・保育園園児、小学校児童他が参加しております。

マナーキッズプロジェクトは、子供達に、専門家による挨拶、礼儀作法の基本的マナーの習得、スポーツマンシップの体得、文武両道で世界に通用する背骨ある人材育成も視野に入れております。また、年々進む子供の体力・運動能力の低下に歯止めをかけるとともに、運動で知性を育む事をも念頭に置いております。

このプロジェクトの一環として「第18回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦」を下記の要領で開催致します。

なお、新型コロナウイルスの影響により、公益財団法人日本スポーツ協会の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、公益財団法人日本テニス協会新型コロナウイルス感染拡大予防JTA公式テニストーナメント開催ガイドライン及び墨田区総合体育館新型コロナウイルスの感染予防対策に則り、次の事項に留意されご参加下さい。新型コロナウイルスの今後の状況によっては、新型コロナウイルス対策を変更する事があり、また大会を中止する事があります。その際は、各チーム宛にご連絡します。

- 1 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせて下さい。(大会当日に確認を行います。)
 - (1) 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 2 マスクを持参して下さい。(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をしている際にはマスクを着用して下さい。観客者は常時マスクを着用して下さい。)
- 3 受付の際に検温します。また、アルコール等による手指消毒を実施して下さい。こまめな手洗いを実施して下さい。手洗いは30秒以上行って下さい。
- 4 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m)を確保して下さい。(障害者の誘導や介助を行う場合を除く。))受付の際には、2m間隔に目印があります。

- 5 大会中に大きな声で会話、応援等をしないで下さい。拍手のみとします。
- 6 新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し、速やかに濃厚接触者の有無等について報告して下さい。
- 7 観客同士が密な状態にならないよう、チーム毎に定められた座席（座席は一つ置きに指定）に着席して下さい。
- 8 試合後の握手はしません。
- 9 「感染した場合の免責事項確認書」を提出して下さい。また、「個人用当日及び過去 2 週間体調チェックシート」を提出して下さい。尚、体調チェックシートはスマホへの事前入力になることがあります。
- 10 新型コロナウイルス対策として「密」を避ける観点から大会運営は次の通りとします。
 - イ 選手は、観覧席に座ったまま。開会式を行います。
 - ロ 試合前の選手待機場所はサブアリーナに全コート分を設置します。
 - ハ 閉会式
選手は観客席で座ったまま行います。
総合優勝のみチーム全員アリーナで表彰を行いません。
その他の学年優勝、コンソレ優勝、マナー賞、感想文賞はアナウンスしますので、受賞者は観客席で立って手を振ってください。
「閉会宣言」で終了となります。アナウンスしますのでチーム毎に順次退場してください。
その際上記受賞チームの代表者はサブアリーナで賞状、賞品を受け取ってください。
チーム毎のゼッケンは監督がまとめてサブアリーナの回収デスクに返還してください。受付に対する帰りの挨拶は会釈程度とし声に出す挨拶は無しとします。
 - ニ クリニックについてはコロナの収束状況により中止になることがあります。
 - ホ 大会運営委員を少数化するため、各チームから大会運営補助を出して頂きたくお願いします。詳細は事前にご連絡します。
 - ヘ 試合の順番を表示したOPボードは、廊下からサブアリーナに変更します。
 - ト マナーキッズ大使の発表は、表彰式では行わず、後日ご連絡します。
- 11 各団体の入場時間、「健康チェックシート」の確認について
 - ・ 体育館入場の際は墨田区総合体育館 4 階の観客席入口で検温及びスマホに事前入力した「健康チェックシート」のチェックを行います。
 - ・ 体育館入場と受付時の混雑を回避するため、各団体の入場時間を定めております。
入場は指定時間通り、低学年は 12 月 24 日（土）8 時 45 分より、高学年は、12 月 25 日（日）8 時 30 分より入場を開始します。
 - ・ 入場は団体ごとに指定された時間に 4F 観客席入口受付から入ってください。
 - ・ 入口にてマスク着用・手指消毒・検温をお願いします。同時に保護者・監督含め全員

の 2 週間分のスマホに事前入力された「健康チェックシート」を確認させていただきます。

- ・その場で全員に「健康チェックシート」確認済みの印をお渡ししますので当日必ず身に着けて置いて下さい。
- ・体温が 37.5 度を超える場合は入場できません。

12 観客席（保護者席）について

- ・団体ごとに席を指定しました。必ず座席を一つ空けて座ってください。
- ・ゴミは持ち帰ってください。

13 監督による受付（エントリー）について

- ・体育館来場後、監督がチームを代表して 3F サーブアリーナに設置する受付でエントリーを行ってください。（監督のみです）
- ・受付時にチーム全員のゼッケン・チームプラカード、必要書類（オーダー表、OP・ドロー）、参加賞を受け取ってください。
- ・受付時に「写真および動画の WEB ページやパンフレット等への掲載同意書」にチーム監督が署名捺印したものを提出してください。
- ・監督にお渡しするチーム名のプラカード（試合の時にコートで表示）は各試合時に選手に持たせてコートの審判に渡してください。試合終了後持ち帰り、次の試合まで大切に保管してください。
- ・オーダー表には各チームの選手名が全て記載されており 4 試合分配布します。

記

- 1 開催期日：令和 4 年 1 2 月 2 4 日（土）低学年対象
9 時 30 分開会式（8 時 45 分受付開始、予定）、
試合終了後低学年表彰式
令和 4 年 1 2 月 2 5 日（日）高学年対象
9 時 15 分開会式（8 時 30 分受付開始、予定）、
試合終了後高学年表彰式
- 2 主催：公益社団法人マナーキッズプロジェクト
- 3 後援：スポーツ庁、東京都教育委員会、墨田区、墨田区教育委員会、NHK、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本テニス協会、公益財団法人日本ソフトテニス連盟、一般社団法人東京都テニス協会
本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」です。
- 4 協力：小笠原流礼法 鈴木万亀子総師範 公益社団法人日本テニス事業協会
公益社団法人日本プロテニス協会 NPO 法人日本シニアテニス連盟

日本女子テニス連盟

- 5 開催場所：東京都墨田区総合体育館
東京都墨田区錦糸 4-15-1 錦糸公園内 電話 03-3623-7273
電車 JR総武線、地下鉄半蔵門線錦糸町駅北口より徒歩3分
- 6 参加対象：小学校1年生～6年生、なお、同じ都道府県内の異なる小学校児童とチーム編成が可能です。
- 7 競技方法：小学校・総合型地域スポーツクラブ・NPOスポーツ団体・スポーツ少年団別、各学年別・男女別団体対抗戦（特定の学年だけに限定して参加するコートを認めます）及び低学年の部、高学年の部団体対抗戦
なお、同一学年でチーム編成が困難な場合は、例えば2年生が3年生と組んで3年生の部としてチーム編成するコートが可能です。
- 8 チーム編成：各学年 単2、複1（単、複重複出場可）、1チーム 2名～6名。
- 9 参加チーム数：高学年男子24チーム、女子24チーム以内（原則）
低学年男子16チーム、女子16チーム以内（原則）
学年毎の参加申込数が上記チームを越える場合は、同一小学校・総合型地域スポーツクラブ・NPOスポーツ団体・スポーツ少年団チームを優先の上、抽選により参加チームを決定します。地域、都道府県によっては予選を行う事があります。
なお、2名以上のチーム編成が困難な場合は、1人の申込も受け付けます。同じ都道府県で1名申込者を紹介しますので、連絡を取り合いチームとして申し込んで下さい。
- 11 試合方法：
- (1) コートサイズ 6.1m×11.88m
- (2) ネット 高さは中央部で83cm、支柱（サイドポスト）で85cm
(低学年は中央部で80cm)
- (3) 得点 9点先取（8対8になった場合は次のポイントで勝負を決めます。）、
コンソレーションは、7点先取とします。
なお、試合が15分以内で決着がつかない場合は、15分経過時点におけるポイント数が多いチームの勝利とします。
- (4) エンドチェンジ
シングルス、ダブルスともエンドチェンジは行いません。その代わりに、チーム同士の挨拶の後、ジャンケンをし、勝ったチームは、どちらのサイドで試合をするかを選べます。
- (5) サービス
・サービスは相手コートのネットとネットから3.3m離れたサーブライン内の対角線半分に落とします。（第12回大会に比べて20cm短縮）

- ・適切な領域内に落とせなかったサービスの場合、2回目のサービスを行えますが、これも失敗すればサーバーが得点を失います。
- ・サービスはベースライン後方から行って、右の場所から左の順になります。
- ・サービスはオーバーハンドまたはアンダーハンドで行えますが、ボールを打つ前にバウンドする事は許されません。ただし、1年生のサービスはボールをベースラインの外側で一旦バウンドさせて打つ事ができます。
- ・サービスしたボールは一度バウンドさせてから打たなくてはなりません。もし、レシーバーがボールをバウンドしないうちに打つとレシーバーは失点します。
- ・サービスはプレーヤー同士2点ごとに交代して行います。
- ・サービスしたボールがネットにあたって相手のサービスエリアに落ちたならば、もう一度サービスを行う事ができます。

(6) プレー

- ・サービスを受ける時以外、プレーの間、競技者はボールのバウンドする前後に打つ事ができます。

(7) ダブルス

- ・4人の競技者は順番に2点ごとのサービスを行う時を除いて、全てシングルスと同じ規則となります。すなわち、最初の2点をサービスするパートナーは5点、6点目にサービスする事になります。

(8) ゲーム

- イ チーム名のプラカード、出場選手にチェックを入れたオーダー表2枚を持参し、審判に渡して下さい。

「対戦カード」のOPボードからの引き抜き及び試合後の結果記入・本部提出については、運営側（審判・スタッフ）が行います。（選手は本部へは行きません）

- ロ チーム同士の挨拶を行います。

今回は声を出しての挨拶は行いません。審判からの「よろしく^{ねが}います」に続いてお辞儀で挨拶をします。次に、キャプテン同士がオーダー表をまず審判に確認してもらって下さい。その後、お互い交換（オーダー交換）してから、審判が「小学校名、学年、氏名」を読み上げるので名前を呼ばれた選手はお辞儀をしてください。

次に、対戦選手同士でネットをはさんで審判からの「これから試合を始めます。よろしく^{ねが}います。」に続いてチーム同士お辞儀をします。次に審判にお辞儀で挨拶をします。

その後、ジャンケンを行い、勝ったチームがどちらのサイドで試合をするか選びます。試合中のエンドチェンジは行いません。

- ハ 各試合毎にラケットを回す方式のトスをして、勝った方がサーブかレシーブを選びます。
- ニ 各試合終了後、選手同士で「ありがとうございました」の気持ちを込めてお辞儀をします。握手は行いません。
近くに審判がいた場合も同様の要領でお辞儀で挨拶して下さい。その後結果記録用紙に審判がスコアを記入しますので両チームで確認してください。
- ホ チームの対戦が終わりましたら、各チームの選手は全員でコートをはさんで挨拶をしますので、試合終了後直ちに挨拶が出来るよう選手全員はコート近くで待機しておいて下さい。
- ヘ 全試合終了後、選手全員はコートを挟んで一列に並びます。
審判が「〇〇チームと〇〇チームの対戦は、シングルス〇対〇、ダブルス〇〇対〇〇、計〇〇対〇〇で〇〇チームの勝利となりました」と試合結果を発表します。両キャプテンは、結果記録用紙を見て、再度勝負を確認しサインをして下さい。その後、その場で「ありがとうございました」の気持ちを込めてお辞儀をして終了します。
- ト 試合後は一方通行で出口から観客席に戻ります。選手の流れは「観客席」～「控え場所（サブアリーナ）」～「コート」～「観客席」の一方通行とします。
- チ 各コートにスプレー式のアルコール消毒液を用意します。試合の前後に審判が選手の手指とラケットを消毒します。また、各自 26 インチのマイラケットを準備してください。
- リ ボールを相手に渡す時は相手がワンバウンドかつウバウンドで受けやすいようにラケットか手で返球して下さい。
- ヌ ボールが他のコート領域に行った場合は、取りに行く必要はありません。
- ル 応援はプレーに影響を与えない範囲で拍手のみで行って下さい。声を出す応援は禁止です。試合中のベンチコーチや技術的助言は禁止します。
- オ プレー中以外はマスクを装着してください。

(9) 審判

セルフジャッジです。低学年、高学年ともロービングアンパイヤ方式です。選手から要請があった場合はコートに張り付いて必要な場合はオーバールールします。審判はロービングアンパイヤ方式ですので以降「審判」は「ロービングアンパイヤ」の事を指しています。審判は、試合中は何か問題のある時以外は見守るだけです。次の要領で進めて下さい。

- ① 試合開始にあたっては、まず試合の順番を掲示した OP ボード（サブアリーナ）のスタッフから試合結果記入用紙を受け取ってください。各チーム監督或いは監督代行（保護者可）は事前に選手にチームネームプレートとオーダー票を持たせて自チームを選手控え場所に誘導して下さい。試合コートの前の試合が終わったら OP ボードの

スタッフが試合コートに選手を誘導します。審判が挨拶と注意事項の説明（プレマッチミーティング）を行います。その後は選手が自主的に試合を進めます。

- ② 自分のコートに飛んできたボールのセーフ、アウトは自分で判定しアウトの時は大きな声で手を上げて「アウト」と言います。相手はそれを確認して手を上げます。
- ③ サーバーはサーブを打つ前に大きな声でカウントを言う。レシーバーはそのカウントを確認したら手を上げます。サーバーは相手が手を上げるのを確認してからサーブします。
- ④ スコアボードは1ポイント毎に選手もしくは控えの選手（コロナが収束していない場合は審判）がめくります。

各試合終了時、結果記録用紙にスコアを記入し、お互い確認します。

全試合終了したら手を上げて近くの審判を呼び、勝敗を全員で確認してから挨拶をして退場します。

(10) 保護者・監督のマナー

近年、大会期間中の保護者の応援姿勢やマナーが問題になっています。次の事に注意してください。応援は拍手でお願いします。声を出しての応援は禁止です。

- ① 相手のミスに拍手しない！
- ② 技術的アドバイスは禁止！
- ③ プレーの妨げや相手選手にプレッシャーを与えるような過度な応援は避ける！
- ④ コートの外の方は、セルフジャッジへの口出しはしない！

等、大人として節度あるマナーを各チーム徹底するようお願いします。

大会各賞選考に保護者・監督のマナーを参考にする事もありますのでご注意ください。

観客席からのビデオ撮影は、可能ですが、ビデオ内容について、セーフ、アウト等ジャッジの判定に使用することはできません。

12 使用球：

プレー&ステイのステージ3のレッドボール。（低学年はヨネックス、高学年はスリクソンステージ3レッド）

13 使用ラケット：

基本的にマイラケットを使用（但し26インチ以下に限定）

大会本部で用意するラケットも使用可。（26インチラケットを用意）

14 順位決定方法：

・各学年別・男女別、小学校・総合型地域スポーツクラブ・NPOスポーツ団体・スポーツ少年団別団体対抗戦

各学年別にトーナメント方式により試合を行い優勝、準優勝、3位チームを決定します。但し、チーム数により、リーグ戦（総当たり）方式とする事があります。

併せて、各学年別・男女別団体対抗戦の成績を次によりポイント換算し、その合計点により、低学年の部（1～3年）、高学年の部（4年～6年）の総合優勝、総合準優勝、総合3位チームを決定します。なお、同点のチームが複数あった場合は、直接対戦で勝ちが多いチーム、勝ち数が同じ或いは、直接対戦が無かった場合は、両チームのエース同士のシングルスを行い、勝者のチームを優勝とします。その他、複雑なケースが起った場合は、大会本部で検討の上、順位を決定する事があります。文部科学大臣賞を交付する者及びその数は次の通りです。

賞状：高学年の部（4年～6年）総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム
 低学年の部（1年～3年）総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム
 大臣杯：高学年の部（4年～6年）総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム
 低学年の部（1年～3年）総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム

優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32
100	70	50	35	25	18

・親善試合（コンソレーションの代わり）

トーナメントで1回戦負け、2回戦負け等準決勝戦進出以外のチームについては、7ポイント先取の親善試合を行います。親善試合は基本的に2試合としOPボードにコートを発表します。

15 マナーキッズ大使の選考：

大会参加者（高学年の部）の中から試合結果、マナー、感想文、面接により若干名をマナーキッズ大使に選考し、海外に派遣する。

なお、新型コロナウイルスの状況によっては、国内のキャンプに切り替える。

16 参加費：1人 2,500円。

17 応募方法

参加を希望されるチームは、公益社団法人マナーキッズプロジェクトホームページ「参加したい」をクリック、「第18回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦」参加申込用紙をダウンロード、これに必要事項を入力し、office365@mannerkids.or.jpまでメールで、9月30日（金）必着でお申込み下さい。

なお、メールの件名に都道府県名、チーム名、総勢〇名を必ず明記して下さい。

同じ団体から2チーム以上出場の場合は、その旨お知らせ下さい。

参加申込用紙の文字がプログラムに記載されますので、選手氏名は必ず参加選手本人に文字を確認して下さい。参加の可否を追って、メールで連絡します。

18 問い合わせ先

公益社団法人マナーキッズプロジェクト「第18回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦」事務局

電話 03-3339-6535 080-5470-6951 FAX 03-6426-1580

Email office365@mannerkids.or.jp URL:<http://www.mannerkids.or.jp/>